

2012 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	白根 靖大		
NAME	SHIRANE Yasuhiro		

1. 研究課題

(和文) 中世文書群における系図史料の総合的研究

(英文) Research on the Japanese medieval genealogies

2. 研究期間

1年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

(和文)

【背景】中世系図論の進展に伴い、系図から中世人の意識や時代背景を読み取るといった研究手法が定着し、系図を作成する歴史的意義が明らかになってきている。中世系図論の次なる課題として、系図を保有・相伝する歴史的意義の解明を挙げることができる。

【目的】中世古系図を史料学的に考証することによって、系図の史料価値を高める。そのうえで、中世古系図が所収されている文書群における系図史料の位置づけを明らかにし、系図を保有・相伝する歴史的意義の解明に迫る。

【研究計画】史料所蔵機関を訪問し、系図が所収されている文書群の原本調査を行う。中世古系図について史料学的に考証し、文書群の中から抽出した関連史料を分析することによって、系図の作成から保有・相伝に至った歴史的経緯を検討する。

【内容および成果】東京大学史料編纂所・京都大学総合博物館・秋田県公文書館を訪問し、原本調査を含む史料調査を行った。その結果、訴訟の副進文書として作成された系図が、裁許の証拠文書として保有・相伝される事例を確認できた。同様の事例は以前の研究においても見出ししており、一つの類型として一般化できる見通しを得た。また、既発表論文の中で残した課題について再検討する素材となり得る系図を見つけたことも、本研究の成果となる。

(英文)

This is the research that aims to make the medieval genealogies more useful historical sources for the study on Japanese history. The subjects of this research are the medieval genealogies included in the historical documents belong to The Historiographical Institute The University of Tokyo, The Kyoto University Museum and The Akita Prefectural Archives. On investigation, the case is found out that a genealogy, drown as one of attached documents of the suit, became one of documentary evidences of the decision.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p> <p>白根靖大『系図の中世史』（高志書院、2014年予定）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>